

イベント開催時のチェックリスト

【第1版（令和3年11月版）】

開催概要

本項目では、チェックリストを記入する前に、イベントの情報をご記入ください。

イベント名

～繋がるキャンパス～ 第3回 飛騨高山学会

出演者・チーム等

大学教員・大学院生・大学生・高校生
12月4日：13組
12月5日：11組

(別紙プログラムのとおり)

開催日時

令和3年12月4日(土) 午後1時15分～午後6時
令和3年12月5日(日) 午後1時15分～午後5時30分

開催会場

飛騨・世界生活文化センター コンベンションホール

会場所在地

岐阜県高山市千島町900番地1

主催者

一般財団法人 飛騨高山大学連携センター

主催者所在地

岐阜県高山市千島町900番地 飛騨・世界生活文化センター内

主催者連絡先

(電話番号)
0577-57-5366

(メールアドレス)
hidatakayama@renkei-center.jp

収容率(上限)

100% (※)
(大声なし)

人と人が触れ合わない
程度の間隔

50% (※)
(大声あり)

十分な人と人との間隔
(できるだけ2m、最低1m)

収容人数

480人

参加人数

12月4日：約150人 12月5日：約150人

その他特記事項

出演者がステージで研究・活動の報告を行う発表会（講演会）であるため、「大声なし」に該当するイベントである。

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

～繋がるキャンパス～ 第3回 飛騨高山学会

受付 (12月4日・5日)

主催 一般財団法人 飛騨高山大学連携センター

12:30

コンベンションホール入り口にて受付開始 (開場)。

非接触体温計による検温、手指消毒、マスク着用の確認などをさせていただきます。

ご来場の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、なにとぞご理解とご協力をお願い致します。



マスク着用



検温



手指消毒



間隔の確保

ご協力をお願いします

※新型コロナウイルス感染症対策のため、以下に当てはまる方はご入場いただけません

- ①発熱 37.5℃以上及び体調が思わしくない方
- ②過去二週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬された方
- ③新型コロナウイルス感染症陽性の方と濃厚接触された方
- ④過去二週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問履歴及び当該在住者と濃厚接触がある方

12月4日(土) プログラム まちづくり分科会

研究・活動発表タイムテーブル

- 13:15 オープニング 飛騨高山大学連携センター
センター長 六角 裕治
- 13:25 ~ 13:50 ① 2021年度飛騨高山アクティブラーニングの取り組み
～インスタ映えるオブジェ制作とその効果の検証～
多摩大学 経営情報学部
- 13:50 ~ 14:10 ② 岐阜県高山市3地区における住民の観光に対する意識
高崎経済大学 地域政策学部
- 14:10 ~ 14:30 ③ 飛騨牛と飛騨牛を用いた料理に対する高山市民の評価
高崎経済大学 地域政策学部
- 14:30 ~ 14:50 ④ 6次産業化におけるマーケティングの現状と課題
- 岐阜県高山市および群馬県内の1次産業へのインタビ
ュー調査を通して -
高崎経済大学 地域政策学部
- 14:50 ~ 15:10 ⑤ 飛騨高山地域での多文化共生推進方策の研究
東京都市大学 都市生活部
- 15:10 ~ 15:30 ⑥ 私たちが創る高山市の多文化共生と未来
斐太高等学校2年 地域活性化プログラム研究グループ
～ 休憩 ～
- 15:50 ~ 16:05 ⑦ 高山市における就労者の子育て環境に関する現状と課題
目白大学 人間学部
- 16:05 ~ 16:20 ⑧ 高山市における地域・郷土と教育に関する現状
-小学生・中学生を対象とした2018年アンケート結果から-
目白大学 人間学部
- 16:20 ~ 16:40 ⑨ 中心市街地の買い物環境の復元
名古屋経済大学 経済学部
- 16:40 ~ 17:00 ⑩ 飛騨高山古い町並看板文字の調査
-地域書道文化に関するゼミの調査結果をめぐって-
愛知学院大学 文学部
- 17:00 ~ 17:15 ⑪ 高山市における都市OS活用の実践
名古屋大学 情報学部
- 17:15 ~ 17:30 ⑫ 高山市中心部におけるAIを用いた通行量データ収集と
その分析
名古屋大学大学院 情報学研究科
- 17:30 ~ 17:50 ⑬ 中小企業の「サステナビリティ経営」
～SDGsへの取り組みを目指す高山市中小企業への示唆～
法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科
- 17:50 クロージング

12月5日(日) プログラム 自然環境分科会

研究・活動発表タイムテーブル

- 13:15 オープニング 飛騨高山大学連携センター
理事長 國島 芳明
- 13:25 ~ 13:40 ① 高山盆地と松本盆地の気象研究
～気候の変遷と盆地の底冷えについて探る～
斐太高等学校 科学部
- 13:40 ~ 14:00 ② 奥飛騨・平湯温泉のインバウンド観光推進
～「ニューツーリズム」に最適な平湯温泉
名古屋外国語大学 現代国際学部
- 14:00 ~ 14:20 ③ 奥飛騨・平湯温泉のインバウンド観光推進
～ヘルスツーリズムによるインバウンド観光促進～
名古屋外国語大学 現代国際学部
- 14:20 ~ 14:35 ④ 奥飛騨・平湯温泉のインバウンド観光推進
～平湯温泉における広報の新たな視点～
名古屋外国語大学 現代国際学部
- 14:35 ~ 14:55 ⑤ 飛騨高山エリアでの高速バス・特急バスの活用戦略の
研究
東京都市大学 都市生活部
- 14:55 ~ 15:10 ⑥ 飛騨山椒を使った商品開発
～中部山岳エリアの特産品を使った商品開発に向けて～
飛騨高山高等学校 商業研究部
～ 休憩 ～
- 15:30 ~ 15:55 ⑦ 飛騨高山と中部山岳国立公園を繋ぐ新たな観光プロ
グラムの提案
～RPGの主人公になって飛騨高山を冒険しよう～
文教大学 国際学部
- 15:55 ~ 16:15 ⑧ 高校生が考える中部山岳国立公園の活性化方法
斐太高等学校2年 地域活性化プログラム研究グループ
- 16:15 ~ 16:40 ⑨ 活性化支援アプリを活用したツーリズムの促進と広域
連携プログラムの提案
岐阜協立大学 経営学部
- 16:40 ~ 17:00 ⑩ 奥飛騨温泉郷神坂蒲田川左岸、蒲田結晶片岩類から産出
したサンゴ化石とその被熱温度
名古屋大学大学院 環境学研究科
- 17:00 ~ 17:20 ⑪ 2021 乗鞍岳探検ゲーム
岐阜大学 社会システム経営学環 / 地域科学部
- 17:20 クロージング

※発表テーマ、発表時間 (前後する場合があります)、発表方法 (リモートでの発表) などに変更になる場合があります。予めご了承ください。

■ご都合などによりご来場いただけない皆さまに。
発表の映像を YouTubeでライブ配信致します

飛騨高山学会 検索

■無料シャトルバス
もご利用下さい

高山駅西口 → 飛騨センター

高山駅 12:15 発・12:45 発

飛騨センター → 高山駅西口

4日:センター 17:15 発・18:15 発

5日:センター 17:15 発・17:45 発

■お問い合わせ

飛騨高山大学連携センター

電話 0577-57-5366

(火曜日休館)

〒506-0032

岐阜県高山市千島町 900-1

感染防止策チェックリスト

【第1版（令和3年11月版）】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超（収容定員設定がない場合並びに緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域においては5,000人超）のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底



【大声なしの場合】
飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声（※）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。

（※）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。

【大声ありの場合】
「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。

②手洗、手指・施設消毒の徹底



こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。）。



主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。

③換気の徹底



法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上等）の徹底。

④来場者間の密集回避



入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。



休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築。



大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保

感染防止策チェックリスト

【第1版（令和3年11月版）】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超（収容定員設定がない場合並びに緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域においては5,000人超）のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

⑤ 飲食の制限



飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。



飲食中以外のマスク着用の推奨。



長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。



自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。）。

⑥ 出演者等の感染対策



有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。



練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。



出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。

⑦ 参加者の把握・管理等



チケット購入時又は入場時の連絡先確認やCOCOA等のアプリ等を活用した参加者の把握。



入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。



時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。